

令和2年度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
《令和元年度実施事業》



天草市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなっています。

本報告書は、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、令和元年度の本市教育委員会の所管事務について、点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告するものです。

<参考>

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成27年4月1日改正）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

| | | |
|-----|----------------|------|
| I | 点検及び評価に関する要領 | 1 P |
| 1 | 趣 旨 | |
| 2 | 点検評価の対象 | |
| 3 | 点検評価の方法 | |
| 4 | 点検評価員の委嘱 | |
| 5 | 点検評価の手順 | |
| 6 | 点検評価調書の作成 | |
| II | 教育委員会の活動状況について | 4 P |
| 1 | 教育委員会会議 | |
| 2 | 教育委員の主な活動 | |
| 3 | 附属機関の状況 | |
| 4 | 教育委員会の情報発信 | |
| III | 外部点検評価 | 7 P |
| 1 | 点検評価員 | |
| 2 | 会議 | |
| 3 | 点検評価員の主な意見 | |
| IV | 点検評価調書 | |
| 1 | 令和元年度点検評価事業一覧 | 14 P |
| 2 | 点検評価調書 | 16 P |

I 点検及び評価に関する要領

1 趣 旨

この報告書は、令和元年度における天草市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

2 点検評価の対象範囲

点検評価の対象は、地教行法第21条に「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第2次天草市総合計画」や「第2次天草市教育振興基本計画」を推進するため取り組んだ主な事業を対象として実施する。

3 点検評価の方法

(1) 内部評価

対象とした施策ごとの主な事業について、その目的、令和元年度の実績内容等を示し、その結果を踏まえて、所管課としての評価及び課題、今後の方向性を記載する。

(2) 外部評価

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々の意見を聴取する機会を設ける。

4 点検評価員の委嘱

(1) 点検評価員の法的根拠 地教行法第26条第2項

(2) 点検評価員の数 2人

(3) 資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4) 任期 2年（再任を妨げない）

(5) 報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

(1) 内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

(2) 外部評価

上記(1)の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

(3) 最終評価

上記(1)及び(2)の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

(4) 議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

(5) 公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

6 点検評価調書の作成

(1) 「事業名」欄

令和元年度に実施した事務事業名を記載する。

(2) 「第2次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第2次総合計画における施策を記載する。

(3) 「政策（基本方針）」欄及び「施策計画」欄

「第2次天草市教育振興基本計画」の「政策（基本方針）及び施策計画」を記載する。

(4) 「目的・内容」欄

実施した事務事業の目的及び内容を記載する。

(5) 「取組実績」欄

令和元年度における取組実績について記載する。

(6) その他

令和元年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

(7) 「評価」欄

ア 評価項目

評価は、次の項目について行う。

(ア)「成果・自己評価」欄

令和元年度に実施した事業について、成果及び自己評価を行う。

(イ)「課題」欄

令和元年度に実施した事業における課題を記載する。

(ウ)「方向性」欄

成果・自己評価及び課題に基づき、今後の方向性を具体的に記載する。

イ 評点

評価は、次の評点により行う。

(ア)「上位の施策（目標）への貢献」欄

4：大いに貢献できた 3：貢献できた

2：少し貢献できなかった 1：ほとんど貢献できなかった

(イ)「市関与の必要性」欄

4：関与の必要性が高い 3：関与の必要性がやや高い

2：関与の必要性はやや低い 1：関与の必要性は低い

(ウ)「達成状況」欄

4：達成できた 3：だいたい達成できた

2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

(8) 総合評価（方向性）欄

上記(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の取組みの方向性について、次の区分により記載する。

ア 廃止：令和元年度で事務事業を廃止する。

イ 終了：設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を終了する。

ウ 縮小：事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する。

エ 見直して継続：他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する。

オ 継続：現行の内容で事務事業を継続する。

カ 拡充：事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する。

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況

《委員名簿》

令和2年3月31日現在

| 役職名 | 氏名 | 任期 |
|--------------|--------|-----------------|
| 教育長 | 石井 二三男 | H30.7.1～R3.6.30 |
| 委員（教育長職務代理者） | 黒鶴 進治 | H29.7.1～R3.6.30 |
| 委員 | 行合 八恵子 | H28.7.1～R2.6.30 |
| 委員 | 木下 えり子 | H30.7.1～R4.6.30 |
| 委員 | 蓑田 えり | H28.7.1～R2.6.30 |
| 委員 | 吉森 啓司 | R1.7.1～R5.6.30 |

※教育長の任期は3年 ※委員の任期は4年

2 教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。令和元年度においては、定例会を12回、臨時会を5回開催し、議案49件の審議、協議報告37件について審議しました。

市民への積極的な情報提供を行うため、会議を傍聴できることや、会議の日時、場所、教育委員会定例会及び臨時会の会議録のホームページへの掲載などを引き続き行います。

3 教育委員の主な活動状況

(1) 学校訪問

市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取組みや抱えている課題の把

握に努めました。これに、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

《学校訪問の状況》

| 区 分 | 対 象 | 期 日 | 出席状況 |
|-------|-----|----------------------|--------|
| 幼稚園訪問 | 2園 | 令和元年11月19日～令和2年1月31日 | 延べ 6人 |
| 小学校訪問 | 17校 | 令和元年9月19日～令和元年12月2日 | 延べ 42人 |
| 中学校訪問 | 13校 | 令和元年7月10日～令和元年11月14日 | 延べ 24人 |

(2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。令和2年1月20日には、熊本県市町村教育委員研修大会に2名の教育委員（教育長含む）が出席しました。

(3) その他の主な会議や行事

| 会議・行事名等 | 期 日 | 出席状況 |
|-----------------------------|----------------|-------|
| 服務宣誓式 | 令和元年4月2日 | 6人 |
| 入学式・入園式 | 令和元年4月 | 延べ15人 |
| 成人式（10地区） | 令和元年8月、令和2年1月 | 延べ13人 |
| 研究発表会（小中学校研究指定校6回） | 令和元年10月～令和2年2月 | 延べ24人 |
| 社会を明るくする運動推進大会 青少年育成健全大会 | 令和元年7月13日 | 3人 |
| 読書イベント | 令和元年10月20日 | 1人 |
| 教育力活性化推進大会 | 令和2年2月1日 | 2人 |
| 退職者感謝状贈呈式 | 令和2年2月26日 | 6人 |
| 卒業式・卒園式 | 令和2年3月 | 延べ14人 |

3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

| 審議会等の名称 | 開催回数 | 主な審議案件 |
|-----------------------------|------|--------------------------------------|
| 天草市奨学生選考委員会 | 1回 | 奨学生の選考 |
| 天草市就学指導委員会 | 2回 | 心身に障害のある児童及び生徒に対する就学指導 |
| 天草市いじめ防止対策審議会 | 3回 | 本市のいじめ問題に係る現状報告、いじめ事案に関する審議 |
| 天草市いじめ問題対策連絡協議会 | 1回 | 本市のいじめ問題に係る現状報告 いじめ問題に係る情報交換・意見交換 |
| 天草市立学校給食センター運営委員会（各センターに設置） | 各2回 | 給食費の決定、給食日数、納入業者の承認、管理運営 |
| 天草市社会教育委員会議 | 2回 | 事業報告、事業計画、生涯学習推進指針、複合施設の建設 |
| 天草市立図書館協議会 | 2回 | 事業報告、事業計画、複合施設の建設 |
| 天草市勤労青少年ホーム運営委員会 | 2回 | 事業報告、事業計画、複合施設の建設 |

4 教育委員会の情報発信

教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、ホームページにおいて市民へ様々な情報を提供しています。令和元年度においては、教育委員会が主催する大会等の行事について、「市政だより天草」に随時掲載し周知に努めました。また、教育の現状及び課題、施策等についてもホームページで情報の提供を行っています。

Ⅲ 外部点検評価

1 点検評価員

(50音順・敬称略)

| 氏 名 | 所 属 等 |
|--------|----------------|
| 望月 信幸 | 熊本県立大学総合管理学部教授 |
| 松本 由香里 | 元 天草市教育委員 |

2 会 議

- ・ 第1回点検評価員会議 令和2年7月20日(月) 天草市役所 第3会議室
- ・ 第2回点検評価員会議 令和2年8月26日(水) 天草市役所 庁議室

3 点検評価員の主な意見

教育育総務課所管事業

《離島高校生修学支援補助金》

中学校在籍時から事業について周知を徹底し、申請漏れがないようにお願いします。

《姉妹都市教育交流事業》

事業参加者の増員が不可能ならば、事前学習を充実させ、本事業に積極的に参加出来るよう事業の見直しが必要である。また、参加者一人一人が団体行動だけではなく、現地で単独行動が出来るような明確な目標を設定して参加することが大切だと考える。

《小学校施設大規模改造事業》《中学校施設大規模改造事業》

設備の修繕・改修には多額の予算が必要となるため、今後も計画的に事業を行っていただきたい。老朽化した箇所の把握や優先順位を決めて改修を進めていくことが大切であるとする。定期的な状況の把握をお願いしたい。

学校教育課所管事業

《学習指導補助教員設置事業》

学校や保護者からの要望が反映することが出来ない場合は、学校運営に配慮し、配置人員を増やす必要があるのではと考える。「配慮や支援が必要な児童生徒」一人一人に学習指導補助教員を配置するものではなく、学校運営や学級運営にいかに関与をきたすかを判断して配置されるのであれば、今後も基準に則った配置をお願いしたい。

《読書活動支援事業》

当該事業は学校司書を配置するだけの事業ではない。貸出冊数の目標値を達成するため、学校図書システムを活用して児童生徒の読書活動の充実を図るべきである。

《英会話科推進事業》

英語を好きではない1割の児童について、どういうところが苦手なのかを拾い上げることが必要だと考える。スキルを伸ばすことは簡単だが、英語が好きではない1割に対してALT等を活用し、英語で会話をすることが楽しいという風感じられるよう工夫が必要である。

大学試験の制度も変わり、英検資格を持っていることは子どもたちの自信にも繋がるのでと考える。中学生の英検受検率向上のため、受検の推進をお願いしたい。

《グローバル人材育成事業》

参加者が楽しいと感じることはとても良い傾向である。実際に外国人と話したり、触れ合ったりする機会は貴重なので継続をお願いしたい。対象を一般市民と広く設定することも良いが、まずは児童とともに保護者へ参加を呼び掛けることも考えて良いのではないかと。

《総合的な学習活動支援事業》

学習内容等のマンネリ化が起きないように、子どもたちの学びたいことを選択していく必要があると思われる。これからの時代は感染症や災害等が広まる中で、この学習で生きる力を育成するために総合的な活動をした子どもたちが、どういう風に成長したのかを発表する機会を設けるなど、事業の成果を把握する必要がある。

《心の教室相談事業》

生徒から受けた相談内容は、情報共有が必要と考えるが、どこまで共有するのかを見極めて、相談員や教職員、その他関係機関との連携を取りながら問題解決に繋がっていただきたい。

《適応指導教室設置事業》

目標値を設定することは難しいため、あくまでも本人の意思で学校へ復帰できるようサポートをお願いしたい。また、学ぶべき時に学ぶことが出来なかった子どもたちへの学習の支援を行い、社会で生きていく際に必要な学力を学ぶことが出来る場所があることが大切だと考える。

《天草市特別支援教育総合推進事業》

相談できる場所や機会の周知徹底をしていただきたい。SCやSSWと調整しながら、意見交流や情報共有を行い、総合的な支援体制を整えることが必要である。

《教育相談事業》

相談日が固定されており相談が難しい場合や早急に相談が必要な場合には、テレビ電話等のリモートでの相談が対応可能となれば、広くフォロー出来ると思う。

講話を開催する際は、相談内容からニーズを拾い上げたものを開催していただきたい。

《市指定教育研究推進校補助金》

学力充実も大切だが、様々な分野で研究されるよう検討していただきたい。大規模校に限らず、小規模校でも研究が出来るよう工夫が必要ではないか。研究することだけが目的ではなく、研究成果を広めていくことが、天草全体の資質アップに繋がる。

《コミュニティスクールの推進に向けた取組み》

設置完了後の運営については、地域によって温度差があるかと思うが、温度差を無くし、活発でない地域を取り込んでいく工夫が必要である。地域の事情や保護者の意識が大きく左右すると考えられるので、ヒアリングしながら取り組んでいくことが大切である。

《小中学校ICT整備事業》

若い世代の教職員はもちろん、年配の教職員へのサポートも検討していただきたい。また、新型コロナウイルスの関係で学校が休校したが、今後もあり得ることであり、リモート授業等のICTを活用した授業の構想を持つておくことが必要であると考える。

生涯学習課所管事業

《家庭教育支援事業》

家庭教育の再生として図らなくてはならない点や不足している点等、具体的な課題を明確に持っていただきたい。

共働きが多くなり、家庭での子どもとの関わり方も変わってきている。保護者が求めているものを知り、事業の周知方法も含め参加しやすい状況を作り、取組を発展させていただきたい。

《成人式》

対象者の人数が減少している現状を踏まえ、開催の在り方を検討する必要がある。

《移動図書館事業》

アンケート結果から、巡回の回数を増やすことはコスト的に難しいが、貸出冊数を増やし、返却期間の延長などのリクエストに応じていけば、もっと活用してもらえる。移動図書館の巡回スケジュールを配布するなど、周知方法をどう拡充させるかを検討していただきたい。

《読書活動推進事業》

中高生の読書活動を伸ばすための工夫を行っていただきたい。

各種イベントの参加者の追跡調査等を行い、参加者のニーズを把握することが大切である。また、若い世代の参加を増やすためのイベントを計画していただきたい。

《生涯学習推進事業》

公民館単位で講師を依頼して事業を行う場合には、予算確保が難しいため、地区振興会等と連携して謝礼を捻出しているところがある。まずは人を集めることが大切であるが、予算等の制限がある場合は、他団体との連携や開催回数を見直す等の工夫をしていただきたい。

《勤労青少年ホーム事業》

課題にもあるが若者の利用者が増えるよう、アンケートを行った後はニーズを確認し、次回以降の講座に活かしていただきたい。勤労する青少年を対象とすると、講座全体の回数が多いと参加することが難しいと考える。講座の開催期間や回数を再考してみてもどうか。

同じ趣味や似たような嗜好の人が集まることで、参加者は盛り上がり、出会いや仲間づくりの場になるのではないかと。堅い印象の講座が多いので、語り合う場があるような気軽に参加できる講座にも取り組む工夫をしていただきたい。

《社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業》

教育力活性化推進大会の開催内容はとても良かった。中高生の発表を聞く機会は少ないので、事業を統合した後も、子どもたちの発表の場は確保していただきたい。

《放課後子ども教室》

参加者の実績が少ないのは、求められているものとマッチしていないことが反映されていると思われる。広域になったことで、人材確保等の物理的な問題の発生や、利用したいが上手く利用できないということがあったのではないかと。未達成の原因を様々な角度から分析し、次年度に反映することが大切である。

《青少年健全育成事業》

補助についての相談を受けるが、基準を満たさない事業が多いとのことだが、事業内容や手続きを分かりやすくし、どういった事業が補助の対象となるかホームページ等で事例を示してはどうか。まずは多くの団体が活用出来るように周知することが必要である。

学校給食課所管事業

《地産地消の推進》

地産地消率の目標達成は1センターのみとのことだが、他センターの目標に至らなかった原因として、予算や食材の量の調整がなかなかできなかったことが挙げられる。全てのセンターが目標を達成できるよう予算確保や仕入れ等の調整をお願いしたい。

《学校給食施設整備事業》

施設整備・更新の計画に基づき、大規模改修ではない修繕をこまめに行うことで施設を長く使用することが出来ると思われる。課題にもある冷房等の設備については、計画的に整備を行っていただきたい。地球温暖化もあり、熱中症も多くなっているのので、体調管理を徹底し、職場環境の改善を計画的にお願いしたい。

《（新）本渡学校給食センター建設事業》

基本設計まで完了しているので、引き続き計画的に着工、運営開始に向けて事業を進めていただきたい。

4 総合評価

望月点検評価員

【教育総務課所管事業】

姉妹都市教育交流事業については、新型コロナウイルスの影響で今後実施が困難になる可能性もあるが、実施出来ない期間が長期化した場合のことも考えていくことが必要になる。

施設については、施設整備計画を基に、こまめにメンテナンスをすることで、施設の長寿命化に繋がると考える。他の部署とも連携し、整備を続けていただきたい。

【学校教育課所管事業】

学校規模に大小があることは致し方ないが、大規模ばかりをフォーカスするのではなく、中小規模の学校にもそれぞれの良さがある。全てを同じようにすることは難しいと思うが、規模や立地に対応した事業を検討していただきたい。

【生涯学習課所管事業】

事業の対象が子どもから大人までと幅が広いが、ニーズが多様化している中で、いかに上手く捉えて応えていくかが重要だと考える。現在事業を行う中でフォーカスされている範囲から外れているところも含めて、広くニーズをキャッチすることが出来れば、見直しのきっかけにもなり、より多くの市民へ貢献出来るのではないかと。新型コロナウイルスの影響で、予定通りに事業やイベントが出来ない場合にも、工夫して情報や生涯学習の機会を提供していくことが必要である。

【学校給食課所管事業】

学校給食に関しては施設の問題が中心になるが、設備の整備、労働環境の改善、子どもたちの口に入る物の衛生管理が大きな柱となる。これらを別物ではなく、一体として捉えて整備を進めていただきたい。教育総務課等の関連部署とも連携して、耐用年数で見るのではなく、中規模な修繕等メンテナンスを行い、長期的に施設が運営出来るよう努めていただきたい。

◎全体的意見・要望等

天草という土地柄、自然も豊かであり食育等も充実した形で教育が出来ていると感じる。特に勤務する大学でも天草出身の学生からは天草のとても良い環境で育った良さが伝わってくる。

昨今、教育環境は目まぐるしく変化している。学習指導要領の改訂や、新型コロナウイルスの影響を受け、これまでにない劇的な変化により弊害も出てくると思われる。ICTを活用したりリモート授業でも、向いている授業と向いていない授業がある。特に双方向になりやすく、実際に目で見て立体的に捉えることが出来ないという難しさがある。しかし、これからはリモート授業を小中学校の現場でも活用して行くことも有り得る。その時にどういった形でデメリットを補っていくのか、工夫をしていくかが重要である。学校の設備やICTの整備、児童生徒のフォローアップだけではなく、学習指導要領の改訂やICTを活用した授業等、教職員の知識・技術についてもサポートが必要になるのではないかと。次年度以降にぜひ織り込んでいただきたい。

食育については、都会だと取り組みにくいことも、天草であれば直接食材に触ってみるような食育も出来る。自然豊かであることを活かした食育を行っていただきたい。

全体を通して、「天草」という土地柄に合わせた事業の展開を期待している。

松本点検評価員

【教育総務課所管事業】

離島高校生の支援について、中学校在籍時から制度内容の周知を徹底し、高校生の状況把握は御所浦支所と連携して漏れのないよう努めていただきたい。

【学校教育課所管事業】

学校教育の現場は、目まぐるしく変化が求められる。小学校からの英語授業、ICT化、地球温暖化による様々な対応、心の問題を抱えた児童生徒への対応など、次々に課される課題に真摯に取り組んでいただいている。近年、毎年のように起こる災害や感染症への対応等新しい問題も生まれ、現場は混乱していることと思う。突発的な問題発生が増え、どんな未来が待っているのか不透明な今、起こるかもしれない問題への予測を的確にし、先へ先へと準備する行動力が求められる。しかし、変わらないのは子どもたちに確かな学力をつけ、豊かで柔軟な人間力を育てていくことである。天草で育った子どもたちが、高い学力と豊かな人間性をもって社会へ巣立っている現実を見れば、教職員の方々の教育への情熱が消えない限り天草の教育は大丈夫だと信じている。

【生涯学習課所管事業】

新型コロナウイルスの影響で事業が中止となり、目標値に達しなかったものもあるが、開催に至った事業では多数の市民の参加が得られたことを見ると、様々な工夫や努力

で市民の求めているものが効果的に展開されたことが分かる。常に魅力的な生涯学習の場を提供し続けていただくことを期待している。

【学校給食課所管事業】

天草は美味しい食材に溢れており、学校給食も美味しい。子どもの時に本物の食材に触れ、味わい、食を楽しめることは人生においてこれほど幸運なことではないと感じる。天草産の食材の活用には課題もあるが、給食に関わる方々の努力で、安全で美味しい給食が提供されていることに感謝している。地球温暖化により作業環境が悪化しないよう引き続き配慮をお願いしたい。

◎全体的意見・要望等

新型コロナウイルスにより世の中の流れは大きく変化している。感染が終息すれば今までとは違った時代が来るとも言われている。バーチャルな世界への違和感から、目に見える世界だけを信用してきた多くの日本人にとって、今の現実を受け入れがたいことが多いように思う。しかし、近い将来我々は、本当に必要なことと省略・簡素化が可能なことの整理、ICT化に適応する生活への行動変容、グローバリゼーションの変化による職業形態の変化等、急激な世の中の変化を受け入れなくてはならないだろう。それは、教育委員会での事業でも同じことが言える。継続事業が多い中で、限りある財源をどのように整理し効果的に使うのが課題になるように思う。

「いつかは・・・」と想像していた未来は、物凄いスピードで変化しながらやってきた。子どもたちは受験だけに備える学びではなく、確実な学力と知識を具体化して使える力や応用力を必要とされ、大人はお金を出せばなんでも手に入る時代は終わり、自分の食べる物さえも自分で調達しなくてはならない時代が来るかもしれない。これからは、どんな世の中でも力強く生きていける人づくり、天草の特徴を活かしたまちづくりや新生活スタイル等が必要となり、文化・伝統を尊重しながらも、新時代の情報やノウハウを発信していく役割を教育委員会が担っていくことになるだろうと考える。皆様のご活躍にエールを贈りたい。

V 今後の方向性

- (1) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、課を跨いで事業の統合ができるものがあれば、十分検討・協議を行い、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (2) 点検評価の結果に基づき、事務事業の今後の取組みの方向性等の見直しを行い、次年度の予算に反映させる。

令和2年度 点検評価事業一覧

| 政 策 (基本方針) | 施策計画 | 整理番号 | 事務事業名 | 所管課 |
|---------------|----------------|------|-----------------------|-------|
| 学校教育の充実 | 学力の向上 | 1 | 学習指導補助教員設置事業 | 学校教育課 |
| | | 2 | 読書活動支援事業 | |
| | | 3 | 英会話科推進事業 | |
| | | 4 | グローバル人材育成事業 | |
| | | 5 | 総合的な学習活動支援事業 | |
| | | 6 | 離島高校生修学費支援事業 | 教育総務課 |
| | | 7 | 姉妹都市教育交流事業 | |
| | 心の教育の充実 | 8 | 心の教室相談事業 | 学校教育課 |
| | | 9 | 適応指導教室設置事業 | |
| | 特別支援教育の充実 | 10 | 天草市特別支援教育総合推進事業 | |
| | | 11 | 教育相談事業 | |
| | 教職員の資質の向上 | 12 | 市指定教育研究推進校補助金 | |
| | 学校・家庭・地域との連携 | 13 | コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み | |
| | 教育を支える環境づくりの推進 | 14 | 小学校施設大規模改造事業 | |
| | | 15 | 中学校施設大規模改造事業 | |

令和2年度 点検評価事業一覧

| 政 策 (基本方針) | 施策計画 | 整理番号 | 事務事業名 | 所管課 |
|---------------|---------------------|------|-----------------------|-------|
| 学校教育の充実 | 教育を支える環境づくりの推進 | 16 | 小中学校ICT整備事業 | 学校教育課 |
| | 学校給食における食の安全と食文化の推進 | 17 | 地産地消の推進 | 学校給食課 |
| | | 18 | 学校給食施設整備事業 | |
| | | 19 | (新) 本渡学校給食センター建設事業 | |
| 生涯学習の充実 | 生涯学習の推進 | 20 | 家庭教育支援事業 | 生涯学習課 |
| | | 21 | 成人式 | |
| | | 22 | 移動図書館事業 | |
| | | 23 | 読書活動推進事業 | |
| | | 24 | 生涯学習推進事業 | |
| | | 25 | 勤労青少年ホーム事業 | |
| | | 26 | 社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業 | |
| | | 27 | 放課後子ども教室推進事業 | |
| | | 28 | 青少年健全育成事業 | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 1 | | | | |
|-----------------------|--|---------------|----------|-----------------------|-----------------|------|---|
| 事業名 | 学習指導補助教員設置事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 教務2係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 小学校及び中学校においてティーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図る。また、日本語指導が必要な外国にルーツを持つ児童生徒に対して、日本語指導員を派遣し、安心した学校生活を送ることができる環境を整備する。</p> <p>●内容 1. 学習指導補助教員 各学校からの要望に基づき、現地調査を行い、小・中学校の教員免許状または養護教諭の免許状を持つ者を補助教員として配置する。 配置基準 (1) 小学校1学年、2学年に31人以上の学級で特に配慮を要する学校 (2) 発達障害等特に配慮を要する学校 (3) 複式学級がある学校 2. 日本語指導員派遣委託 日本語指導員を派遣できる団体と委託契約を締結し、日本語能力の指導等を行う。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>1. 学習指導補助教員 市内の小・中学校に、教員免許を持つ非常勤職員を配置した。 ・各学校からの要望数 79人(小学校 57人、中学校 22人) ・現地調査を行った学校 27校(小学校 16校、中学校 11校) ・学習指導補助教員配置数 40人(小学校 30人、中学校 10人) ・配置基準別配置数 (1) 8人 (2) 32人 (3) 0人 計40人 2. 日本語指導員派遣委託 市内の小学校に、日本語指導員を派遣し、日本語能力の指導を行った。 ・指導時間数 205時間</p> | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | |
| 99,336 (一般 99,336) | 学習指導補助教員の配置数 (年度末時点) | 人 | 目標値 | 41 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | 40 | | | |
| | | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | | | | |
| 成果 自己評価 | <p>学習指導補助教員配置については、担任教諭と補助教員とのティーム・ティーチングで、児童生徒一人一人に目が行き届いた細やかな学習指導を行い、学習態度や集団生活等の基礎的事項の定着・向上が図られた。 日本語指導員派遣委託については、指導員を派遣することにより、日本語指導を受ける児童にとって安心した学校生活を送ることができる環境が整備された。</p> | | | | 総合評価 (方向性) | | |
| 課題 | <p>学習指導補助教員配置については、学校の状況を把握し、人材を探しながら配置することができた。しかしながら、学校からの要望は非常に多い。今後も学校運営や学級運営の状況等を見ながら学校の選定、配置を行っていくことが重要である。 日本語指導員派遣委託については、限られた時間のなかで、より効果的に成果があげられるよう、学校や保護者とも連携していかなければならない。</p> | | | | 継続 | | |
| 方向性 | <p>支援を必要とする子ども達は年々多くなっている傾向にあり、学校からの要望も非常に多い。身体的又は心の支援を必要とする子ども達のため、現状どおり継続する。</p> | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------------------|---|------------------|----------|---------|------------|-----------------------|---------------|------|
| 点検評価調書 | | 整理番号 | 2 | | | | | |
| 事業名 | 読書活動支援事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 教務2係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 | 次世代の担い手を育む | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 学校教育において、児童生徒の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、情報活用能力を向上させる等効果的な読書活動や多様な学習活動を推進する。</p> <p>●内容 図書館業務の専門的知識を有する学校司書を巡回配置する。</p> | | | | | | | |
| 取組実績 | <p>図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内の小・中学校（30校）に、2校又は3校に1人の割合で巡回配置した。ただし、学校規模により、本渡南小、本渡北小、亀川小、本渡中については、1人を専属で配置した。</p> <p>・学校司書配置数 17人</p> | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 33,263 (一般 33,263) | | 学校司書配置数 | 人 | 目標値 | 17 | | | |
| | | | | 実績値 | 17 | | | |
| | | 貸出冊数 | 冊 | 目標値 | 280,000 | 4 | 4 | 4 |
| | | | | 実績値 | 297,413 | | | |
| 成果 自己評価 | <p>学校司書を各学校に配置し、学校図書システム等を活用した効果的な読書活動や蔵書の整備、図書室の視覚的な環境整備を行うことで、学校図書館教育の充実が図られ、子ども達の本への関心を高めることができた。</p> | | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | <p>学校教育において、効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するためには学校司書の存在は欠かせない。図書館業務においては専門的知識を必要とするため、これまでの経験者や学校などと連携を図り、人材確保に努めていく必要がある。</p> | | | | | | 継続 | |
| 方向性 | <p>学校における読書活動等のさらなる充実を図るため、今後も継続する。</p> | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 3 | | | | |
|-----------------------|--|------------------|----------|---------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 英会話科推進事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 指導係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 生きた外国語を市内小・中学生に学習させ、国際交流、異文化交流を推進するとともに、市内すべての小学校に英会話教育を実施することで、英語能力の基礎を養い、国際社会に対応できるコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>●内容 ・外国語指導助手（ALT）及び英語指導補助教員を市内小・中学校に巡回方式で配置。 ・中学校英語検定チャレンジ事業補助金：中学3年生1人につき1回、受講料の2/3補助（新規） ・特区として小学校全学年を「英会話科」として取り組む。 （1・2年：20時間、3・4年：35時間、5・6年：70時間） ・ALTや英語指導補助教員の活用や英会話科研究会、英会話科研修により、英会話科の授業の充実を図る。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>○ALT（11人）及び英語指導補助教員（5人）を市内小・中学校に巡回方式で配置。 ○中学校英語検定チャレンジ事業補助金 666人中213人（32%） ○全ての小学校で設定されている授業時数を実施 1・2年：20時間、3・4年：35時間、5・6年：70時間 ○学校教育研究会における「英会話科」部会の実施 【英会話科研究会】 （1）研究会による授業の指導計画の見直し・作成 新学習指導要領全面实施に対応するため、1～4年生の指導計画を見直した。 【英会話科研修】 （1）3回実施 ※3回目は新型コロナウイルス感染症による影響で紙面にて実施 ①令和元年6月4日（火）＜参加者＞小・中学校英語担当教員、英語指導補助教員 ②令和元年11月29日（金）ブラッシュアップ研修（五和小6年の授業） ＜参加者＞小・中学校英語担当教員及び希望者、英語指導補助教員 （2）アンケート調査の実施（11月）：児童生徒を対象に5項目の調査を実施。 （3）英会話科取り組みの実践報告のとりまとめ</p> | | | | | | |
| | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 66,355 (一般 66,095) | 英語の好きな児童の割合 | % | 目標値 | 95.0 | | | |
| | | | 実績値 | 89.6 | | | |
| | 中3における英語検定3級 相当以上の割合 | % | 目標値 | 50 | | | |
| | | | 実績値 | 37 | | | |
| 4 | 4 | 3 | | | | | |
| 成果 自己評価 | <p>英会話科では、コミュニケーション能力の向上を図ることが目的となっているが、指導者の意識の高まりと指導力の向上を見ることができた。英会話科研究会では、来年度の実施がスムーズにできるように、これまでの実践を改善しながら指導計画を作成することができた。英会話科研修では、全ての小・中学校の担当者が参加することで、小中連携が促進されている。連携の内容も授業レベルの具体的な内容のものが増えてきている。 児童生徒対象のアンケート結果から、英会話科の4つのポイントの「clear voice」と「eye contact」に関して意識化が図られた。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | <p>英語によるコミュニケーション能力の育成を図ると同時に、グローバル人材の育成へと発展させていく必要がある。 また、指標に英語の好きな児童の割合に、コミュニケーション能力の育成を図るものを加える必要がある。</p> | | | | | 見直して継続 | |
| 方向性 | <p>平成28年度から特区として、全小学校で実施しているが、新学習指導要領の全面实施で令和2年度より5・6年生は「外国語科」の教科となる。1～4年生においても特区として「外国語科」として実施することとなる。 今後も天草市全体で外国語科に取り組むことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る必要があるため、見直して継続する。</p> | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 4 | | | | |
|---------------------|---|---------------------|----------|---------|-----------------------|-------------|------|
| 事業名 | グローバル人材育成事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 教務2係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 児童生徒が国内大学留学生及びA L T（外国語指導助手）との交流（英会話）を通じ、コミュニケーション能力を高め、主体性・積極性を身につけることにより、グローバル人材として必要な資質の育成を図る。</p> <p>●内容 「天草English Day」や「学校訪問」を開催し、互いの文化や言葉の違いを理解し合う。プログラム中のコミュニケーションは、原則として英語を使用する。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>小中学校の児童生徒と、国内大学留学生及びA L Tとの交流（英会話）事業を実施した。 ・講師陣…京都大学経営管理大学院留学生（6人）、A L T（11人）</p> <p>【天草English Day】 （1）本渡会場：令和元年8月31日 天草市民センター 展示ホール <小学生対象> 10：00～12：00 参加者 69人 <小・中学生対象> 13：30～15：30 参加者 63人 参加者総合計 132人</p> <p>【学校訪問】 （1）倉岳小学校：令和元年8月30日 倉岳小学校 ランチルーム、音楽室、各教室 <参加者>倉岳小学校全校児童 （2）牛深東小学校：令和元年9月2日 牛深東小学校 多目的ホール <参加者>牛深東小学校5・6年生児童</p> | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 1,066 (一般 1,066) | | 本事業を楽しんでいる 児童の割合 | % | 目標値 | 90.0 | | |
| | | | | 実績値 | | | |
| | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 | |
| | | 実績値 | | | | | |
| 成果 自己評価 | 天草English Dayに参加した児童生徒のアンケート結果では、99.2%が楽しかったとの回答であった。様々な国の外国人とふれあったり、英語で自己紹介を行うことで、児童生徒の外国語に対する興味・関心の向上、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。 | | | | 総合評価 (方向性) | | |
| 課題 | これまで5年にわたって天草English Dayや学校訪問を行い、参加した子ども達に興味・関心を持ってもらうなど成果をあげることができた。今後は、グローバル人材育成事業全体の内容を見直し、学校だけではなく、保護者や一般市民とも関係が生まれるような事業、また、京都大学大学院留学生の能力がさらに生かされる事業とするための検討が必要である。 | | | | 継続 | | |
| 方向性 | 天草市と京都大学経営管理大学院とは二地域就労促進事業で包括協定を結んでおり、今後もグローバルな人材を育成するため、政策企画課等とも協議しながら継続する。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------|---|--------------------------------------|-----------|---------|-----------------------|---------------|------|
| 点検評価調書 | | 整理番号 | 5 | | | | |
| 事業名 | 総合的な学習活動支援事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 教務1係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 | 次世代の担い手を育む | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 児童生徒の学習の場を市内全域に広げ、天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、体験活動を通して自分で考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど「生きる力」を育成する。 また、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録に合わせ、構成地域の一つである崎津集落の現地学習を行い、地域の貴重な歴史的遺産について理解を深める。</p> <p>●内容 市内全小・中学校30校で総合的な学習活動の時間における体験学習等の校外活動を行う。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>対象校：小学校17校 中学校13校 対象経費：交通費・講師謝礼等 【活動事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 社会施設見学、職業講和、茶摘み体験、米作り体験、地域の歴史・伝統・自然体験学習等 ・中学校 職業体験、職業講和、地域の歴史・伝統・自然体験学習等 ・世界遺産学 全小中学校において崎津集落での現地学習を含む年間10時間の学習を実施 | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 3,790 (一般 3,790) | | 総合的な学習の時間で関 わりのあった地域団体 (個人)等の数 | 団体 (人) | 目標値 | | | |
| | | | | 実績値 | 548 | | |
| | | | | 目標値 | 4 | 4 | 4 |
| | | | | 実績値 | | | |
| 成果 自己評価 | 各学校で自然環境・歴史・伝統・文化等の調査・観察・見学・体験活動(企業・工場・施設見学や職業・ふるさとの体験など)を実施し、児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、天草の伝統・文化への理解を深めることができた。なお、実施にあたり、文化課などが作成する資料を活用し、事業に取り組んだ。また、平成30年7月に崎津集落が世界遺産登録されたことから、「世界遺産学」を教育課程に位置付けて取り組み、児童生徒を対象とした現地学習を通して、地域の貴重な歴史遺産への理解を深めることができた。 | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | 各学校で学習内容が異なるため予算を一律に配分することは困難であるが、各学校のニーズに合わせた予算措置が必要である。また、令和元年度より、市内小・中学校において世界文化遺産に関する学習、「世界遺産学」を教育課程に位置付け、今後は崎津集落の現地学習を柱としながら、天草の豊かな地域資産を活用し、学習機会を設けていくことが必要である。 | | | | | 継続 | |
| 方向性 | 総合的な学習の時間において体験学習等の校外活動を実施するうえで、児童生徒の移動手段の確保等に対応しながら積極的に実施し、「生きる力」の育成につなげたい。 | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 6 | | | |
|--|--|---------------|----------|-----------------------|-----------------|------|
| 事業名 | 離島高校生修学費支援事業 | | | 担当課係名 | 教育総務課 総務企画係 | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | |
| 事業目的・内容 | <p>①離島高校生修学支援補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的 御所浦地域から高等学校等に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減する。 ●対象者 高等学校等に在学する生徒の保護者で、通学費若しくは下宿費等を負担している者。 ●補助対象経費及び補助額 <ul style="list-style-type: none"> ・御所浦地域から天草市内の高等学校に定期船で通学する場合の定期船定期券代の全額 ・御所浦地域を離れ、高等学校等に通学するために寮若しくはアパート等を利用している場合の住居費 月額10,000円を上限(10,000円未満の場合はその額) <p>②御所浦航路利便性強化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的 御所浦地域から天草高等学校倉岳校に通学する生徒が、朝課外及び部活動等に参加する場合の修学環境の向上を図る。 ●補助内容 定期船が利用できない時間帯に、天草高等学校倉岳校の校長が事前に定めた行事(朝課外・部活動等)において海上タクシーを利用する場合、海上タクシー利用料の全額を補助する。 ●補助対象者 天草高等学校倉岳校御所浦地区保護者会 | | | | | |
| 取組実績 | <p>①離島高校生修学支援補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ■通学費補助 補助対象生徒数 11名 補助額 1,776,000円 ■下宿費等補助 補助対象生徒数 54名 補助額 6,019,000円 <p>計7,795,000円</p> <p>②御所浦航路利便性強化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ■利用日数 118日 利用船舶数(隻) 194隻 利用者数(延べ) 985人 ■補助額 904,500円 | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 8,700 (国庫支出金 3,452) (県支出金 1,793) (一般 3,455) | 補助対象者数 | 人 | 目標値 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | | | |
| | | | 目標値 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | | | |
| 成果 自己評価 | 御所浦支所まちづくり推進課にも申請書を備え付け、提出できる体制を取ることができ、スムーズな事務処理ができた。書類不備等のある申請者には、支所と協力し複数回電話及び文書で連絡を取ったが、申請者からの書類提出がなく補助できなかった例があった。定期船定期券代及び下宿費等の支払証明書の添付を必須としたため補助金請求時に不備が多かった。 | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | 転学や通学方法の変更がある場合に申請者からの連絡がなく変更決定通知等の送付が遅延し、国庫補助及び県補助を全額受けられない場合がある。中学校在籍時も含め、制度内容の周知を徹底する必要がある。 | | | | 継続 | |
| 方向性 | 離島振興策及び御所浦振興策による事業であるため、現状のまま継続する。 | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 7 | | | | |
|---------------------|--|---------------|----------|--------|----------------------------------|---------------|------|
| 事業名 | 姉妹都市教育交流事業 | | | 担当課係名 | 教育総務課 総務企画係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 国際化の推進 | 施策計画 姉妹都市・大学との 交流連携による人づくり | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学力の向上 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 本市の姉妹都市であるエンシニータス市（アメリカ合衆国・カリフォルニア州）と中学校生徒の派遣・訪問団受入れを交互に実施することにより、異なる文化や言語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身につけ、21世紀の郷土を担う心身ともに逞しい青少年育成を図る。</p> <p>●内容 隔年で中学校生徒の派遣、エンシニータス市からの訪問団の受入れを行う。</p> <p>■中学生の派遣 ①ホームステイ ②市長表敬訪問・ジャパンフェスティバル等への参加 ③ロサンゼルス市内観光等</p> <p>■エンシニータス市訪問団の受入れ ①文化交流事業（茶道・華道体験、イルカウォッチング等） ②市内中学校を訪問し交流学習 ③ホームステイ（市民との交流）</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>令和元年度はエンシニータス市へ天草市から中学生6名・引率者1名・職員2名を派遣した。</p> <p>■派遣期間：令和元年7月29日（月）～令和元年8月7日（水）</p> <p>■派遣中の活動：エンシニータス市長表敬訪問、サーフィン、ビーチバレー、ジャパンフェスティバル参加 滞在中は中学生及び引率者はホームステイを体験した。</p> | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 2,625 (一般 2,625) | 派遣者数 (内生徒数) | 人 | 目標値 | 9 (6) | | | |
| | | | 実績値 | 9 (6) | | | |
| | | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | | | | |
| 成 果 自己評価 | <p>派遣期間中、中学生及び引率教員はホームステイをしながら様々な体験をすることで異国文化に触れ、貴重な体験をすることができた。エンシニータス図書館で開催されたジャパンフェスティバルに参加し、中学生たちが事前に日本で準備した日本の文化等を披露した。</p> <p>姉妹都市締結30周年を受け、職員の交流と本事業の今後について協議するため市職員2名を派遣した。天草市からの受入れ増員を提案したが、現状の7名から増やすことは難しいとの回答を得た。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課 題 | <p>姉妹都市教育交流事業は隔年で派遣、受入れを実施しているが、派遣について、アメリカの文化や日常会話等を学ぶための事前学習を1回のみ行っている。エンシニータス市への派遣をより充実したものとするため、訪問する目的、何を学びたいのかを自覚し、学習してもらう機会として、事前学習を複数回行う必要があると考える。さらに、事前学習の中で自己目標を設定し、帰国後の目標達成についてアンケートを実施することで、経験をその後の学習に活かせるよう取組む必要がある。</p> | | | | | 見直して継続 | |
| 方 向 性 | <p>派遣・受入れの内容について、より充実したものとするため関係者と協議することとし、見直して継続する。</p> | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 8 | | | | |
|---------------------|---|------------------|----------|---------------------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 心の教室相談事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 教務2係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 心の教育の充実 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 不登校気味の生徒の適応問題や問題行動等に関する生徒の教育相談等を実施し、問題解決につなげる。</p> <p>●内容 中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供するため、各中学校の相談室等に「心の教室相談員」を各1人配置する。 ①教育相談 ②相談室登校への対応 ③保護者との連携推進 ※報酬 1時間当たり1,000円 ※週20時間以内</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>市内中学校全13校に相談員を1人ずつ配置した。</p> <p>【心の教室相談員】 (配置校) 本渡中、本渡東中、稜南中、牛深中、牛深東中、有明中、御所浦中、倉岳中、 栖本中、新和中、五和中、天草中、河浦中 (相談件数) 6,835件</p> | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 9,629 (一般 9,629) | | 相談件数 | 件 | 目標値 実績値 6,835 | | | |
| | | 相談員設置校数 | 校 | 目標値 実績値 13 | 4 | 4 | 4 |
| 成果 自己評価 | 市内の全中学校に心の教室相談員を配置することができ、生徒の様々な悩み相談等に対して指導・助言を行ったことで、生徒のストレスを和らげたり、心のケアをすることができ、安心感や心のゆとりが生まれた。また、相談の内容によっては、学校関係者や関係機関、専門家等に繋ぎ、解決を図った。 | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | 子ども達の悩み等に対して的確なアドバイスができるよう実態等を分析し、相談員の質の向上を図っていくことが重要である。そのためには、情報交換を含めた研修会等を更に充実させ、また、突発的事項等にも対応できるように、学校との連携を図っていく必要がある。 | | | | | 継続 | |
| 方向性 | 中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続する。 | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 9 | | | | | |
|---------------------|---|--|----------|---------|------------|-----------------------|-------------|------|
| 事業名 | 適応指導教室設置事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 教務2係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 | 次世代の担い手を育む | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 心の教育の充実 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 本渡中学校の分教室として天草市勤労青少年ホームの一室に適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、指導及び援助を行い、「引きこもり」の防止、学校復帰につなげる。</p> <p>●内容 教員免許を有する適応指導教室教員2人を配置し、不登校（気味）の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施する。 開級日：学校授業日のうち月曜日から金曜日 学級時間割：朝の会10：00（学習・給食） 帰りの会 15：00</p> | | | | | | | |
| 取組実績 | <p>様々な理由で学校に通学できない生徒の受け皿として、適応指導教室教員2人を配置した。</p> <p>開級日：学校授業日のうち月曜日から金曜日 学級時間割：朝の会10：00（学習・給食） 帰りの会15：00 通級生徒数：12人（うち学校へ復帰した生徒数 1人）</p> | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 5,159 (一般 5,159) | | 通級生徒数 (うち学校へ復帰した生徒数) | 人 | 目標値 | 12 (1) | | | |
| | | | | 実績値 | | 4 | 4 | 4 |
| 成果 自己評価 | 心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、学びの場を設け、「引きこもり」の防止、学校復帰を目的とした指導及び援助を行ったことで、令和元年度は12人の在籍に対し、1人が復帰することができた。 | | | | | | | |
| | 課題 | カワセミ学級は本渡中学校の分教室という位置付けであるが、利用者は他の中学校の生徒も増えている。今後も本渡中学校だけでなく他の中学校にも、通級という形で当該学級に通えるカワセミ学級についての周知等を図り、真に支援が必要な不登校（気味）の生徒に対して指導・支援を行っていく必要がある。 | | | | | | 継続 |
| 方向性 | 様々な理由により学校に登校できない子ども達に、教育を受ける機会や社会と繋がる機会を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続する。 | | | | | | | |

| | | | | | | |
|-------------------|---|---------------|------------------|-----------------------|-------------|---------------|
| 点検評価調書 | | 整理番号 | 10 | | | |
| 事業名 | 天草市特別支援教育総合推進事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 指導係 | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 | 次世代の担い手を育む |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 特別支援教育の充実 | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子ども一人一人に対し、教育的ニーズに応じた適切な教育や必要な支援の実施に向けて、特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の充実を図る。</p> <p>●内容 幼稚園・保育所（園）・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会（13区）を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育を推進する。</p> | | | | | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区連携協議会（13区） ・推進会議（年2回） ・実務担当者会議（年4回） ・リーダーコーディネーター研修（年2回） ・天草市コーディネーター研修（年1回） ・推進会議（年2回実施）では、本年度の事業全体の計画、取組について協議・評価を行い、取組の改善につなげた。 ・天草市特別支援教育研修（コーディネーター研修）では、各学校のコーディネーターをはじめ、特別支援教育に携わっているコーディネーター以外の教員も参加し、196人の参加者があった。 ・巡回相談（対象：学校関係者、保護者） | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 193 (一般 193) | 巡回相談における担任への 支援件数 | 回 | 目標値 実績値 26 | | | |
| | 校内委員会、研修協力の 回数 | 回 | 目標値 実績値 17 | 4 | 4 | 4 |
| 成果 自己評価 | <p>実務担当者会議（年4回実施）では、コーディネーター研修及び推進会議に向けての協議を行い、各会議・研修の充実を図ることができた。</p> <p>天草市特別支援教育研修（コーディネーター研修）では、「たしかな支援 つながる支援～みんなで取り組む支援の充実のために～」というテーマのもと、つながりのある支援体制について実践発表や熱心な協議が行われた。</p> <p>巡回相談事業について、令和元年度は46件の相談希望があり、43件実施（台風接近と大雨のため3件未実施）し、学校関係者や保護者に対し特別な支援についての助言を行うことができた。また、対象児童生徒を関係機関へとつなぐ足掛かりともなった。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) |
| 課題 | <p>天草市コーディネーター研修において、就学前から高校までを対象に、切れ目のない支援体制の実現のため、参加者全員が満足するような研修内容、研修形態を考えていく必要がある。</p> <p>巡回相談において、平成30年度と比較し、令和元年度は、相談回数が減少した一方、不登校や家庭環境の問題、友人関係の問題等に対処するためのSC・SSWの支援申請が例年より増加している。相談内容に特別支援に関するものもあり、巡回相談につないだ方が適切と思われる申請も多く見られたので、相談内容をもとに適切な関係機関へとつなげるよう学校へ助言していく必要がある。</p> | | | | | 継続 |
| 方向性 | 特別支援を必要とする児童生徒は多く、引き続き積極的に取り組む。 | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 11 | | |
|---------------------|--|---------------|----------|-----------|-----------------------|
| 事業名 | 教育相談事業 | | | 担当課係名 | 学校教育課 指導係 |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 特別支援教育の充実 | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 教育の相談員（教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー）を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、児童生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを応援する。</p> <p>●内容 就学前幼児の保護者及び、児童生徒やその保護者を対象にした相談活動（個別相談、研修・講話）及び教育全般への指導・助言（特別支援教育、不登校・いじめ等対策、幼稚園教育）を行う。また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施する。</p> | | | | |
| 取組実績 | <p>・教育相談日数60日予定のうち53日、延べ103件の個別相談と4回の研修会・講話の実施を行った。</p> <p>・就学前では周知が広まり、保育園（所）の相談が増えた。</p> <p>・子育て支援課子ども相談係との連携により活用が増え、就学前の特別支援教育が深まっている。</p> <p>・小中学校からの主な相談内容としては不登校を含む学校生活に関することや、言葉に関するものであった。</p> <p>・相談後の職員ミーティングで専門的な助言を受けることで、専門性の向上や指導力向上へつながっている。</p> <p>教育相談カウンセラー5名、教育指導アドバイザー1名の相談対象について 【臨床心理士・言語聴覚士】就学前19名、小学生3名、中学生1名 計23名 【臨床心理士】就学前16名 計16名 【言語聴覚士】就学前19名、中学生1名 計20名 【作業療法士】就学前17名、中学生2名 計19名 【臨床心理士】就学前7名、小学生8名 中学生6名 計21名 【教育指導アドバイザー】就学前2名、小学生1名、中学生1名 計4名</p> | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 |
| 3,542 (一般 3,542) | 教育相談日数 | 日 | 目標値 | | 市関与の 必要性 |
| | | | 実績値 | 53 | |
| | カウンセリング件数 | | 目標値 | | 4 |
| | | | 実績値 | 103 | |
| 成 果 自己評価 | <p>本市で専門的なアドバイスを受けることができ、保護者は不安やストレスを和らげ、教師は個々に応じた支援体制を整えることができている。8月に行われた天草市特別支援教育研修会では、言語聴覚士のカウンセラーが講話を行った。</p> <p>令和元年度は天草市療育体制に関する行政部会の会議が毎月行われたが、その中で本事業を他課に周知することができた。それにより、市としての体制の整理と充実に向かうことができつつある。</p> | | | | 総合評価 (方向性) |
| 課 題 | <p>相談事業の周知に関しては、年度当初に年間の日程表を配付しているが、担任やコーディネーターにまで情報が伝わっていないところもあった。周知の方法を検討したい。</p> <p>相談日が決まっているために、急を要する対応が難しい場合がある。</p> | | | | 継続 |
| 方 向 性 | <p>特別支援教育の理解を深め、保護者の子育てを応援するためにも相談員及び関係機関と連携しながら継続する。</p> | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 12 | | | | | |
|---------------------|--|------------------|----------|-----------|-----------------------|---------------|------|---|
| 事業名 | 市指定教育研究推進校補助金 | | | 担当課係名 | 学校教育課 指導係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 教職員の資質の向上 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 絶え間ない技術革新とグローバル化が進展する変化の激しい社会に、主体的に対応し、たくましく生きる人材の育成を図るため、学校教育に求められている今日的な課題について学校および地域の実態に即して研究を深める。また、その成果を普及することにより本市教育の振興に資する。</p> <p>●内容 研究推進校を指定し独自の事業を実施する。指定校は5校とする。</p> | | | | | | | |
| 取組実績 | <p>指定校（5校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本渡南小学校：分かりやすい授業づくりを通した「生きる力」の育成のための実践的研究 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～ ○本渡北小学校：「自ら考え、ともに高め合う北っ子」を目指して ～深い学びにつながる学び合いの授業づくり～ ○本渡中学校：確かな学力の育成を目指す実践的研究 ○牛深中学校：互いに認め合う関係づくりと学力向上の取組 ～「楽しく」「分かる」魅力ある授業づくり～ ○河浦中学校：郷土を愛し、郷土を誇りに思い、郷土を大切にする子どもの育成 ～キャリア教育の視点から～ | | | | | | | |
| | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | |
| 1,000 (一般 1,000) | 指定校数 | 校区 | 目標値 | 5 | | | | |
| | | | 実績値 | 5 | | | | |
| | | | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 |
| | | | | 実績値 | | | | |
| 成 果 自己評価 | <p>新学習指導要領の全面実施が、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から行われる。その中で改善の方向性として「『主体的・対話的で深い学び』の実現」が示され授業改善が求められている。研究指定校では、新学習指導要領における授業改善について先進的な取り組みがなされ、天草市の小中学校への普及を図ることができた。</p> <p>令和元年度は、研究や研究発表会の内容の充実を図るため、本渡南小学校には早稲田大学教職大学院教授の田中博之氏を発表当日に招致し、講演等を実施した。本渡北小学校では、東北大学大学院教授の堀田龍也氏を招致し、プログラミング教育についての講演を実施した。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) | | |
| 課 題 | <p>このたびの学習指導要領改訂は、教育の大きな変革が求められており、今後の学校教育の在り方については更なる研究・実践が必要である。また、本研究指定校の研究・実践を市内各校へ波及させ、各学校の実態に応じた教育実践へとつなげていきたいと考える。</p> | | | | | 継続 | | |
| 方 向 性 | <p>専門家の助言を受けながら、学力充実並びにICTを活用した教育について研究を継続していく。</p> | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 13 | | | | | |
|-------------------|--|------------------|----------|--------------|-----------------------|---------------|------|----|
| 事業名 | コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み | | | 担当課係名 | 学校教育課 指導係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 次世代の担い手を育む | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学校・家庭・地域との連携 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。</p> <p>●内容 地教育法第47条の6に基づいた取組であり、令和2年度までに、すべての学校で国版学校運営協議会の設置完了する。</p> | | | | | | | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度末の状況 新たに11校が国版学校運営協議会を設置し、設置完了校は14校、熊本版コミュニティスクール（任意）16校 令和2年度までに全校で国版学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置することとし、更に関係規則の周知を図った。 これまでの熊本県版のコミュニティスクールは、地方教育行政の組織及び法律の改正（学校運営協議会の設置の努力義務化）に伴い、教育委員会が指定し、委員を委嘱するコミュニティスクールに全校移行する旨の理解を広げることができた。 | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | |
| 422 (一般 422) | | 設置校数 | 校 | 目標値 | | | | 10 |
| | | | | 実績値 | 14 | | | |
| | | | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 |
| | | | | 実績値 | | | | |
| 成 果 自己評価 | <p>令和元年度は、すでに設置を終えている本町小学校、五和小・中学校の3校に加えて、本渡北小、本渡東小・中、牛深小・中、牛深東小・中、新和小・中、河浦小・中の11校において設置を完了することができた。防災、学習指導、行事等の学校運営において、委員の意見等を取り入れて、地域の教育力を生かした特色ある教育活動が行われた。</p> <p>また、今後の方針として、令和2年度までに全校で学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置することとした。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) | | |
| 課 題 | <p>学校と地域がどのような子供たちを育てていくのか、目標を共有し、一体となって「子供育て」に取り組んでいかなければならない。地域協働活動推進員も配置されたので、今後充実した取組が展開されていくよう、活動の把握や各学校間の情報共有、先進的取組についての啓発等、計画的に進めていく必要がある。</p> | | | | | 拡充 | | |
| 方 向 性 | <p>令和2年度にすべての小中学校で国版コミュニティスクールを設置することになっており、今後より一層「地域とともにある学校づくり」を推進するため、地域や関係部署（生涯学習課等）と連携し、事業を拡大する。</p> | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 14 | | | | |
|--|---|---------------|----------|----------------|-----------------------|----------------|------|
| 事業名 | 小学校施設大規模改造事業 | | | 担当課係名 | 教育総務課 施設係 | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 | 教育を支える環境づくりの推進 | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 教育を支える環境づくりの推進 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害が発生する恐れがあるときや災害発生時には、地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。公共施設個別施設計画に基づき、老朽化した建物について、建物全体を改造する工事を行い、建物の長寿命化及び耐久性を確保し、児童が心地よく学習できるよう教育環境の改善を図る。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>●総事業費 562,945千円 (令和元年度事業分49,015千円、平成30年度繰越分513,930千円)</p> <p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役務費 43千円(計画通知、完了通知手数料) ・測量設計等委託料 4,043千円 (牛深東小トイレ改修設計、倉岳小トイレ改修設計、本渡南小プール改修設計 3件) ・使用料及び賃借料 984千円(本渡北小学校仮設校舎賃借料 1件) ・工事請負費 43,945千円 (本渡北小駐車場整備工事、新和小トイレ改修工事(建築、設備)) <p>【平成30年度繰越事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設置工事監理業務委託 4件 6,977千円 ・空調設備設置工事及び付帯工事 23件 506,953千円 計513,930千円 | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 562,945 (国庫補助金 124,275) (一般 438,670) | 整備件数 | 件 | 目標値 | 17 | | | |
| | | | 実績値 | 17 | | | |
| | 測量設計委託件数 | 件 | 目標値 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | 3 | | | |
| 成果 自己評価 | <p>本渡北小学校駐車場整備工事、新和小学校トイレ改修建築工事、新和小学校トイレ改修設備工事の3件について改修工事を行った。併せて、令和2年度以降工事予定の測量設計業務委託の3件について実施設計が完了した。</p> <p>また、空調設備整備事業では、平成30年度繰越事業として計23件の工事を完了。当該工事に係る工事監理業務委託を4件行った。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | <p>国庫補助金を財源とするため、国からの補助採択がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。</p> <p>また、補助対象外の大規模改修工事についても、別に財源を確保する必要があるため、容易に事業実施ができない状況にある。</p> | | | | | 継続 | |
| 方向性 | <p>天草市公共施設個別施設計画(令和元年～令和12年)及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく必要がある。</p> | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 15 | | | | | |
|---|---|------------------|----------|----------------|-----------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 中学校施設大規模改造事業 | | | 担当課係名 | 教育総務課 施設係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 | 教育を支える環境づくりの推進 | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 教育を支える環境づくりの推進 | | | | |
| 事業目的・内容 | 学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害が発生する恐れがあるときや災害発生時には、地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。公共施設個別施設計画に基づき、老朽化した建物について、建物全体を改造する工事を行い、建物の長寿命化及び耐久性を確保し、生徒が心地よく学習できるよう教育環境の改善を図る。 | | | | | | | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 138,027千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計委託料 5,459千円 (新和中平面測量・舗装設計・側溝改修設計業務委託、牛深東中トイレ改修設計業務委託、本渡東中トイレ改修設計業務委託、牛深中プール外建設工事監理業務委託 計6件) ・工事請負費 132,568千円 (牛深中プール解体工事、牛深中夜間照明撤去工事、牛深中プール工事(建築、設備)、牛深中夜間照明器具増設工事、牛深中部室棟建設工事、牛深中フェンス設置工事、中学校給排水設備工事2件 計9件) | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 138,027 (国庫補助金 22,855) (一般 115,172) | | 整備件数 | 件 | 目標値 | 2 | | | |
| | | | | 実績値 | 2 | | | |
| | | 測量設計委託件数 | 件 | 目標値 | 4 | | | |
| | | | | 実績値 | 4 | | | |
| 成果 自己評価 | 大規模改造工事については牛深中学校プール改修工事に関連する工事計8件のほか、本渡東中学校給水管取替工事、合計9件の工事を完了した。 測量設計委託については、令和2年度以降工事予定の4件について実施設計が完了した。 | | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | 国庫補助金を財源とするため、国からの補助採択がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。また、補助対象外の大規模改修工事についても、財源を確保する必要があるため、容易に事業実施ができない状況にある。 | | | | | | 継続 | |
| 方向性 | 天草市公共施設個別施設計画(令和元年～令和12年)及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく必要がある。 | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 16 | | | |
|-----------------------|--|---------------|-----------------------------------|-----------------------|-------------|---------------|
| 事業名 | 小中学校 I C T 整備事業 | | 担当課係名 学校教育課 教務 1 係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 学校教育の充実 施策計画 教育を支える環境づくりの推進 | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 教育を支える環境づくりの推進 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 市内の小中学校へ I C T 機器を整備することにより学校における情報化への対応を進め、①情報活用の実践力、②情報の科学的な理解、③情報社会に参画する態度の3つの観点から児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。また、校務の効率化、セキュリティ対策の強化を目的に全教職員へ校務用パソコンを配備し、イントラネットや共有サーバも提供することで情報の共有化を図る。</p> <p>●内容 学習用パソコン及び実物投影機など機器の購入や修繕、保守など、小中学校における I C T 環境の整備を行う。</p> | | | | | |
| 取組実績 | <p>○校務用パソコンの購入 学校職員が使用するパソコンの更新 666台</p> <p>○ I C T 機器の更新・修繕 実物投影機33台、プロジェクター34台、スクリーン25台、液晶テレビ55台、アクセスポイント50台を配置</p> <p>○校務支援ソフト導入の検討 令和2年度の導入に向け、展示会の視察やメーカー数社についてデモンストレーションによる確認など情報収集を行い、学校情報化に関する識者を訪ねソフト導入へのアドバイス等を受けた。</p> | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | 評 価 | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | | |
| 81,183 (一般 81,183) | パソコン教室整備校 | 校 | 目標値 13 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| | | | 実績値 13 | | | |
| | 整備台数 | 台 | 目標値 650 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 666 | | | |
| 成 果 自己評価 | <p>児童生徒が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけることの重要性が高まる中で、 I C T 機器を活用した「分かる授業」の実施により、「確かな学力」の育成に貢献している。</p> <p>タブレット端末や実物投影機等の導入により、 I C T 機器を活用した授業づくりを行うことで、児童生徒の授業に対する関心や学習理解を高めることができた。</p> <p>教職員向け I C T 研修については、市教委主催の I C T 活用の研修等により、授業や教材研究など、教職員の I C T 機器の活用能力の向上に寄与した。</p> <p>また、校務用パソコンについて一斉導入から6年を経過したため更新を行い、パソコンの処理速度等の不満を解消し校務の効率化を図った。</p> | | | | | |
| 課 題 | <p>国の G I G A スクール構想の推進により、急激に変化する I C T 環境に対し、設備整備と人材の両面において、対応できる学校及び市教委の体制を作っていく必要がある。児童生徒の I C T 機器の活用能力の向上や児童生徒が主体的に学ぶ意欲を引き出す授業づくりができるよう、今後も教職員の I C T 機器の操作・活用方法などの研修を引き続き実施する必要がある。また、校務支援ソフトの導入を行い、校務の効率化を図りながら学校業務の改善を進めていく必要がある。</p> | | | | | |
| 方 向 性 | <p>学習用コンピューター等 I C T 機器の設置については、文部科学省の I C T 環境整備方針や学習指導要領等に示される内容に基づき整備したいと考えており、 G I G A スクール構想にも対応していく必要があるため、情報政策課及び財政課と協議しながら継続する。</p> | | | | | |
| | | | | | | 総合評価 (方向性) |
| | | | | | | 継続 |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 17 | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|---------------|--|-----------------------|---------------|------|-----------|--------------|------|--------|------|-------|------|
| 事業名 | 地産地消の推進 | | | 担当課係名 | 学校給食課 | | | | | | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 学校給食の充実 | | | | | | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学校給食における食の安全と食文化の推進 | | | | | | | | | |
| 事業目的・内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。 ・天草産・熊本県産の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味を持たせ、生産者等の顔が見える給食づくりを目指す。 | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・「天草宝島お魚給食の日」を設け、有明海産マダコを水産振興課の協力を得て市内全小中学校及び幼稚園の給食に提供。また、小中学校18校で、「マダコの生態について」や「天草市の水産業について」の出前講座を行った。 ・毎月19日の「食育の日」に天草産の特産物や郷土料理を取り入れた献立を各センターで実施した。 ・各センターの栄養士も各学校での出前講座や給食だよりにより地産地消の取組について周知を行うことが出来た。 <div style="text-align: center;"> <p>地産地消率の推移</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>地産地消率 (%)</th> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>22.9</td> </tr> </table> </div> | | | | | 年度 | 地産地消率 (%) | 平成29年度 | 24.1 | 平成30年度 | 24.6 | 令和元年度 | 22.9 |
| 年度 | 地産地消率 (%) | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年度 | 24.1 | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度 | 24.6 | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度 | 22.9 | | | | | | | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | | | | | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | | | | | | | |
| - | 品目ベースの地産地消率 (天草産食材の品目) | % | <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>R4年度 30.0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>22.9</td> </tr> </table> | | | | 目標値 | R4年度 30.0 | 実績値 | 22.9 | | | |
| 目標値 | R4年度 30.0 | | | | | | | | | | | | |
| 実績値 | 22.9 | | | | | | | | | | | | |
| | | | <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> </table> | 目標値 | | 実績値 | | 4 | 4 | 3 | | | |
| 目標値 | | | | | | | | | | | | | |
| 実績値 | | | | | | | | | | | | | |
| 成 果 自己評価 | <p>各センターでは、地場産品を給食に取り入れるための様々な工夫を行っている。</p> <p>毎月、天草の旬の食材などを使用した献立を実施したが、徴取した見積りでは食材量、規格及び価格面などの条件が合わず、献立の変更を余儀なくされるなど目標値には至らなかった。</p> | | | | 総合評価 (方向性) | | | | | | | | |
| 課 題 | <p>天草産の活用については、食材の量・品目数・規格・価格面などの課題があるが、地元JAや漁協、生産者及び農林・水産振興課と連携して組織的に取り組む必要がある。</p> <p>また、給食現場と小規模な生産者からの集荷などを可能とするため直売所等と連携を行う必要がある。</p> | | | | 継続 | | | | | | | | |
| 方 向 性 | <p>地元の食材を利用した献立の内容を充実して継続していきたい。</p> | | | | | | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 18 | | | | | | |
|---------------------------------|---|---------------|----------|---------------------|-----------------------|---------------|------|-------|-------|
| 事業名 | 学校給食施設整備事業 | | | 担当課係名 | 学校給食課 | | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 学校給食の充実 | | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学校給食における食の安全と食文化の推進 | | | | | |
| 事業目的・内容 | 各給食センターの給食設備を「天草市学校給食基本計画」に基づき整備・更新し、安全・安心 でおいしい給食を提供する。 | | | | | | | | |
| | 平成31年4月1日 現在 | | | | | | | | |
| | | 給食センター名 | 地区 | 建築年月 | 経過年数 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 食数 |
| | | 本渡学校給食センター | 本渡 | 昭和50年3月 | 44 | 3 | 7 | 3 | 3,874 |
| | | 牛深学校給食センター | 牛深・河浦 | 平成20年3月 | 11 | | 3 | 3 | 1,047 |
| | | 御所浦学校給食センター | 御所浦 | 昭和62年3月 | 32 | | 1 | 1 | 162 |
| | | 栖本学校給食センター | 倉岳・栖本 | 平成14年12月 | 16 | | 2 | 2 | 361 |
| | | 新和学校給食センター | 新和 | 昭和43年3月 | 51 | | 1 | 1 | 204 |
| | | 五和学校給食センター | 五和 | 平成11年2月 | 20 | | 1 | 1 | 503 |
| | | 天草学校給食センター | 天草 | 昭和56年3月 | 38 | | 1 | 1 | 159 |
| | 有明小学校調理場 | 有明 | 平成29年11月 | 1 | | 1 | | 201 | |
| | 有明中学校調理場 | | 平成17年3月 | 14 | | | 1 | 105 | |
| | 合計 | | | | 3 | 17 | 13 | 6,616 | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> 給食設備の更新等 7,400,039円 新設 御所浦学校給食センターエアカーテン設置 他1件 更新 五和学校給食センタースチームコンベクションオープン更新 他6件 施設の改修工事 4,334,260円 天草学校給食センターボイラー改修 他4件 | | | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | | |
| 11,734 (一般 11,734) (市債 0) | 対象事業数 | 件 | 目標値 | 11 | | | | | |
| | | | 実績値 | 14 | | | | | |
| | | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| 成果 自己評価 | 老朽化した給食設備については、安全・安心な給食を安定的に提供するため、改修等に取り組むことができた。 | | | | | 総合評価 (方向性) | | | |
| 課題 | 昨今の地球温暖化の影響等により調理場内の作業環境が悪化しているため、空調設備等の改修を検討したが、どの施設も建物自体が古く直ぐには改修できない状態であった。衛生管理上及び調理員の快適な環境改善のためにも大規模な施設改修に取り組む必要がある。 | | | | | 継続 | | | |
| 方向性 | 老朽化した給食設備を、計画的に更新する。 | | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 19 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|---|------------------|----------|---------------------|-----------------------|-------------|-----------|---------------|-----------|---------|------|---------|--------------------|--|--------|-------|---------------|
| 事業名 | (新) 本渡学校給食センター建設事業 | | | 担当課係名 | 学校給食課 | | | | | | | | | | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 学校教育の充実 | 施策計画 学校給食の充実 | | | | | | | | | | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 学校教育の充実 | 施策 計画 | 学校給食における食の安全と食文化の推進 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>本渡学校給食センターは、建築後44年経過し老朽化が著しいため、移転改築し、建築後51年経過し老朽化が著しい新和学校給食センターと統合する。</p> <p>(スケジュール)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>基本計画、用地取得</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>基本設計、地質調査</td> </tr> <tr> <td>令和元～2年度</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>令和3～4年度</td> <td>センター建設（鉄骨造約2,500㎡）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厨房機器設置</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2学期より給食運用開始予定</td> </tr> </table> | | | | | 平成30年度 | 基本計画、用地取得 | 令和元年度 | 基本設計、地質調査 | 令和元～2年度 | 実施設計 | 令和3～4年度 | センター建設（鉄骨造約2,500㎡） | | 厨房機器設置 | 令和4年度 | 2学期より給食運用開始予定 |
| 平成30年度 | 基本計画、用地取得 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度 | 基本設計、地質調査 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元～2年度 | 実施設計 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和3～4年度 | センター建設（鉄骨造約2,500㎡） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厨房機器設置 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和4年度 | 2学期より給食運用開始予定 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | 厨房機器業者の選定、基本設計、地質調査を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | | | | | | | | | | |
| 184,679 (一般 6,779) (市債 177,900) | | 用地取得進捗 | % | 目標値 100 実績値 100 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 基本・実施設計進捗 | % | 目標値 30 実績値 30 | 4 | 4 | 4 | | | | | | | | | | |
| 成果 自己評価 | 給食センターの主要施設である厨房機器について、厨房機器選定プロポーザルを先行し、衛生管理能力などの視点から選択を行い質の高い提案を求めることができ厨房機器業者を決定するに至った。このことにより、建築設計業者との役割等が明確となり円滑に基本設計業務が実施できた。 | | | | | | | 総合評価 (方向性) | | | | | | | | | |
| 課 題 | 令和4年9月からの供用開始に向けて、関係各課と連携して事業を進めて行く必要がある。 | | | | 拡充 | | | | | | | | | | | | |
| 方 向 性 | 令和4年9月からの供用開始に向けて事業を推進したい。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------------------|---|------------------|----------|---------|---------------|-----------------------|---------------|------|
| 点検評価調書 | | 整理番号 | 20 | | | | | |
| 事業名 | 家庭教育支援事業 | | | 担当課係名 | 生涯学習課 生涯学習推進係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 | 生涯学習の推進 | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | | |
| 事業目的・内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●目的 学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや学習機会の提供等を行い、家庭教育力の向上のための支援を行う。 ●内容 家庭教育講座等講師派遣（社会教育指導員及び外部講師） <ul style="list-style-type: none"> ・保育所（園）、幼稚園及び小中学校等への講師派遣 ・3歳児、5歳児健診時等の家庭教育講座 | | | | | | | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座等講師派遣 各小中学校の就学時健診、PTA行事や3歳児・5歳児健診等の際、家庭教育に関する講座を開催 ・実施回数171回 内訳：小学校47回、中学校18回、幼稚園4回、保育所（園）4回、3歳・5歳児健診34回、 その他児童館等64回 ・延べ参加者数 6,084人 | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 101 (一般 101) | | 家庭教育講座開催数 | 回 | 目標値 | 200 | | | |
| | | | | 実績値 | 171 | 4 | 4 | 4 |
| | | 家庭教育講座参加者数 | 人 | 目標値 | 6,000 | | | |
| | | | | 実績値 | 6,084 | | | |
| 成果 自己評価 | <p>社会教育指導員が天草教育事務所社会教育主事等と連携し、親の学びの冊子を作成し小・中学校、保育所（園）、幼稚園等に配布を行った。</p> <p>また、小中学校だけでなく、様々な場で、参加者のニーズに合わせた講座を提供し、実施方法についても参加体験型を基本に参加者の交流を通じて学びにつなげた。</p> <p>講座の開催数については、3歳児健診の事業見直しによる健診回数の減や、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、講座の開催ができなかったことから、目標値には及ばなかった。</p> | | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | <p>家庭における教育力の向上のため、小・中学校においては、全学校で「親の学び」を実施しているが、保育所（園）においては、実施が少ない。「親の学び」の冊子を保育所（園）長会にて配付を行うなど家庭教育の拡充を図る必要がある。</p> <p>保護者等に向けた家庭教育支援の把握に努めるため、参加者の声を聞き、求められる講座の開催を企画する必要がある。</p> | | | | | | 見直して継続 | |
| 方向性 | <p>複合施設の供用開始に伴い、健康増進課等と連携を図りながら、様々な場での講座の提供を行っていく。</p> <p>令和2年度からは、家庭教育支援事業、放課後子ども教室、地域学校協働活動推進事業を統合し、地域と学校の連携・協働体制構築事業として見直して継続していく。</p> | | | | | | | |

| | | | |
|-----|-----|-------|---------------|
| 事業名 | 成人式 | 担当課係名 | 生涯学習課 生涯学習推進係 |
|-----|-----|-------|---------------|

| | | | | | | |
|-------------------|------|---------------|----|---------|------|---------|
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 | 生涯学習の推進 |
|-------------------|------|---------------|----|---------|------|---------|

| | | | | | | |
|--------------|--------------|---------|----------|---------|--|--|
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | |
|--------------|--------------|---------|----------|---------|--|--|

| | | | | | | |
|---------|--|--|--|--|--|--|
| 事業目的・内容 | <p>●目的 人生の節目を迎えた新成人が大人としての生き方を考え、決意する場、友人と再会しその喜びに浸るとともに、今後の生き方を語り合い励ましあう場、家族が子ども・孫の成長を実感し新成人と共に喜びを分かち合うとともに、新成人が家族への感謝を感じる場とする。</p> <p>●内容 ○開催方法等 各地区ごとに開催 ・8月16日：牛深 1月3日：本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦 ・1月4日：御所浦、新和、五和 ○式典の実施 アトラクションとして各地区の郷土芸能披露や成人者自身が成人としての決意を発表。 ○終了後記念撮影を行い、天草市の記念品として写真を贈呈する。</p> | | | | | |
|---------|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|------|-------|-------|------|--------|--------|
| 取組実績 | 開催日 | 地区名 | 対象者数 | 出席者数 | 出席率 |
| | 8月16日 | 牛深地区 | 118人 | 100人 | 84.70% |
| | 1月3日 | 本渡地区 | 400人 | 337人 | 91.50% |
| | | 有明地区 | 47人 | 43人 | 85.70% |
| | | 倉岳地区 | 22人 | 21人 | 96.00% |
| | | 栖本地区 | 25人 | 24人 | 95.70% |
| | | 天草地区 | 27人 | 22人 | 81.50% |
| | 1月4日 | 河浦地区 | 37人 | 30人 | 81.10% |
| | | 御所浦地区 | 25人 | 24人 | 96.00% |
| | | 新和地区 | 29人 | 26人 | 89.70% |
| | | 五和地区 | 63人 | 56人 | 88.90% |
| 全地区計 | | 793人 | 683人 | 86.10% | |

| | | | | | | |
|-----------------|------------------|-----|-------|-----------------------|-------------|------|
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 810 (一般 810) | 出席率 | % | 目標値 | | | |
| | | | 実績値 | 86.1 | | |
| | | 目標値 | | 4 | 4 | 4 |
| | | 実績値 | | | | |

| | | |
|------------|---|---------------|
| 成果 自己評価 | 本市は、10地区での開催を継続しており、新成人者の出席率は、令和元年度86.1%と高く、新成人者が実行委員を担う地域の特性を活かした、成人式の開催となっており、成人式の企画・立案や司会などを行い、地域住民から一定の評価を得ている。 | 総合評価 (方向性) |
| 課題 | 令和元年度、成人式のあり方についてアンケートを実施し、今後の方向性について、今までどおりとすることと決定を行った。今後は、新成人者の数も減少する傾向にあるため、成人式のあり方についても、見直しが必要である。 | |
| 方向性 | 成年年齢の引き下げ(18歳)と併せ成人式のあり方について、アンケートを実施し、その結果を踏まえて、令和4年度以降の対象年齢を20歳とする成人式の実施方針を決定した。また、当面は時期や各地区での開催を継続することとした。 今後は、令和6年度までにあり方の協議をあらためて、行うこととしたい。 | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 22 | | | | | |
|---------------------|---|------------------|----------|---------|----------------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 移動図書館事業 | | | 担当課係名 | 生涯学習課 中央図書館庶務係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 生涯学習の推進 | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 図書館のない地域、図書館から遠い地域に住む市民のため、移動図書館車で地域を巡回し、図書館サービスを提供することで、市民の読書活動を推進する。 また、小学校・幼稚園・児童館等の配本場所に定期的に巡回することで、学校図書館に所蔵してない図書と出会う機会ができ、子どもの読書活動の推進につながる。</p> <p>●内容 移動図書館車3台で天草全域に実施している。 ①中央図書館…本渡・有明・倉岳・栖本・新和・五和地区 53箇所実施（車両：H25年度購入） ②御所浦図書館…横浦島を含む御所浦全域 29箇所実施（車両：H23年度天草町より移管） ③河浦図書館…河浦・牛深・天草地区 65箇所実施（車両：H23年度経済対策により購入）</p> | | | | | | | |
| 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問箇所：147箇所 ・利用冊数：127,122冊 ・利用者数：10,607人 | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 2,980 (一般 2,980) | | 利用冊数 | 冊 | 目標値 | 120,000 | | | |
| | | | | 実績値 | 127,122 | 4 | 4 | 3 |
| | | 利用者数 | 人 | 目標値 | 13,000 | | | |
| | | | | 実績値 | 10,607 | | | |
| 成果 自己評価 | 利用者数の実績値は、1人あたりの貸出数の増加や一括貸出の配本数を増やしたことにより目標値を上回った。利用者については、平成30年度の実績値より下回ったが複合施設こらすの供用開始に伴い、中央図書館の移転準備作業のため3ヶ月間休館したことなどが主な要因と思われる。 | | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | 移動図書館の有効活用については、地域の声や利用者のニーズを把握するためのアンケート調査などを実施する必要がある。また、日程の周知については、巡回地区への周知方法を工夫し、より利用しやすいサービスの提供を行っていく必要がある。 | | | | | | 継続 | |
| 方向性 | 利用者に向けた読書の啓発を行い、移動図書館を必要とする施設等の状況及び利用者のニーズを調査し、読書への興味を深めてもらうことにより、利用者増につなげる。また、巡回地区の周知方法としては、利用時に次の訪問日時等あわせて周知し、サービスの拡大を図る。 | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 23 | | | |
|-------------------|---|---------------|----------|-----------------------|----------------|------|
| 事業名 | 読書活動推進事業 | | | 担当課係名 | 生涯学習課 中央図書館庶務係 | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 生涯学習の推進 | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 市民に読書の楽しさを理解してもらい、意欲的に読書に親しんでもらう機会を提供することで、市民の読書活動の推進を図る。また、読み聞かせボランティアの研修会等を実施することにより、図書館との連携を強化し、読み聞かせ活動を家庭や地域に広げる。</p> <p>●内容 天草市立中央図書館読書イベント、ボランティア交流会、童話発表会、アマクサライブラリーカフェ、古文書学習会及び巡回講座の開催を実施。</p> | | | | | |
| 取組実績 | <p>○天草市立図書館読書イベント・・・児童文学作家 くすのきしげのりさん講演会 (開催数1回 参加者数85人)</p> <p>○ボランティア交流会…読み聞かせボランティアの交流とスキルアップを目的に開催。 (開催数1回 参加者数60人)</p> <p>○童話発表大会・・・童話や民話などを児童が発表。 (開催数1回 参加児童数30人、うち天草地方大会へ出場12人)</p> <p>○アマクサ・ライブラリー・カフェ・・・様々なジャンルのゲストを招へいし、年間4回開催。 (開催数4回 参加者数91人)</p> <p>○古文書学習会…天草の古文書を教材に学習会を開催し、天草の歴史研究家の育成に努めた。 (開催数11回 参加者数66人)</p> <p>○巡回講座…年間計画に基づき各学校等への読み聞かせ活動により、本に親しむ機会を提供。 (開催数26回 参加者数2,429人)</p> | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 490 (一般 490) | 図書館利用冊数 | 冊 | 目標値 | | | |
| | | | 実績値 | 369,547 | | |
| | 図書館利用者数 (※来館者数) | 人 | 目標値 | 100,000 | | |
| | | | 実績値 | 78,214 | | |
| 成 果 自己評価 | <p>利用冊数及び利用者数ともに、中央図書館の移転準備による休館期間が3か月あったため、実績数については今年度の目標値には及ばなかったが、1日平均では利用者数230人、利用冊数1,065冊と前年度を上回った。また、読書イベントなどの各種事業を実施する際に、関連図書の展示などを行い、貸出利用の促進を行った。</p> | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課 題 | <p>中高生などの若い世代の利用が例年少ない傾向にあるため、家庭、地域、学校及び行政が連携協力し、利用者のニーズに応じた講座の開催などによる読書活動の推進を継続していく必要がある。また、新規登録や来館者を増やすため、広報誌やケーブルテレビ、SNSなどによる継続した広報活動を行う必要がある。また、イベント参加者のニーズの追跡調査を行い、利用促進につなげる。</p> | | | | 見直して継続 | |
| 方 向 性 | <p>複合施設こころすの供用開始に伴い、生涯学習の拠点として図書館をはじめ関係機関との連携による新たな事業を展開し、相談業務(レファレンス)の充実を図るとともに、図書館全体の読書活動を推進する。また、イベント参加者のニーズを把握するため、アンケート項目の見直しを行い、利用の促進を図っていく。</p> | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 24 | | | | | |
|---------------------|---|------------------|----------|------------|--------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 生涯学習推進事業 | | 担当課係名 | 生涯学習課 公民館係 | | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 | 生涯学習の推進 | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 生涯学習の充実を図るため、市民に多様な学習機会の提供を行うとともに、学習情報の提供や学習相談の充実等の支援を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民全体に学習の機会を提供するため、各地区公民館単位で人権学習、家庭教育などの全体講座の開催。 学習の機会を得にくい市民に対して、各地区に講師等を派遣し、健康づくり、消費生活などの地域講座の開催。 講師として登録した市民を学習を希望される団体等に派遣して講座を行う生涯学習人材バンクの実施。 天草Webの駅や紙媒体を活用し、講座の情報発信。 講座受講者が学んだ成果を発表する場の提供。 | | | | | | | |
| 取組実績 | <p>○全体講座の開催(市民全体に対し、公民館単位で学習の機会の提供) 開催数65回 参加延人数3,025人</p> <p>○地域講座の開催(比較的学習の機会を得にくい市民に対し、身近な場所で学習の機会の提供) 開催数259回 参加延人数6,541人</p> <p>○市民の学習ニーズや要望に対応した講座の開催(生涯学習人材バンクを活用した講座の開催) 開催数15回 参加延人数525人</p> <p>講座開催数計339回。多様な学習の機会を述べ10,091人の市民の方に提供することができた。</p> | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 2,260 (一般 2,260) | | 講座開催数 | 回 | 目標値 | 390 | | | |
| | | | | 実績値 | 339 | | | |
| | | 参加延人数 | 人 | 目標値 | 15,000 | 4 | 4 | 3 |
| | | | | 実績値 | 10,091 | | | |
| 成 果 自己評価 | <p>地区振興会等の関係団体と連携し、地域の課題やニーズを把握し講座を開催した。</p> <p>講座の開催、参加者数とも順調であり、公民館の再編を行った平成25年度以降、開催数、参加者とも過去最大となる見込みであったが令和2年に入り、新型コロナウイルスの感染予防のため参加者が減少し、14の講座が中止になるなど結果的に参加者が前年度を割る実績となった。</p> <p>しかし、公民館を通じて学習機会の提供を継続して行うことで、本市の公民館事業が学習に特化したものとして定着し、学習が身近なものとなり、市民の学習意欲の向上につながっていると思われる。</p> | | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課 題 | <p>公民館講座の開催数及び参加者数を増やすためには、学習を希望される団体等に派遣して講座を行う生涯学習人材バンクを充実させる必要がある。市民のニーズに対応できる講師を増やす必要がある。</p> <p>また、年齢層や参加者のニーズに合わせた講座を開催しているが、目的に沿った市民ニーズを把握し、これまで開催していないジャンルの講座の開催に取り組んでいく必要がある。</p> | | | | | | 見直して継続 | |
| 方 向 性 | <p>令和2年4月からの複合施設の供用開始に伴い、生涯学習の拠点として効果的な学習機会の提供を行うため、勤労青少年ホーム事業と統合し、生涯学習推進事業として見直して継続したい。</p> | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 25 | | | | | |
|-------------------|---|------------------|----------|---------|---------------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 勤労青少年ホーム事業 | | | 担当課係名 | 生涯学習課 生涯学習推進係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 | 生涯学習の推進 | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 勤労青少年に対して、各種相談に応じ、必要な指導を行い、レクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動のための便宜を供与する等、勤労青少年の福祉に関する事業を総合的に行う。</p> <p>●内容 ・勤労青少年を対象とした教育講座等の開催。</p> | | | | | | | |
| 取組実績 | <p>○教養講座 ・料理講座（期間10ヵ月 32回 受講者延べ人数218人） ・ヨガ講座（期間4ヵ月 11回 受講者延べ人数242人） ・コンディショニング講座（期間3ヵ月 7回 受講者延べ人数76人） ・エアロビック講座（期間3ヵ月 8回 受講者延べ人数65人）</p> <p>○スキルアップ講座 ・浴衣着付け講座（期間2ヵ月 6回 受講者延べ人数30人） ・着物着付け講座（期間4ヵ月 13回 受講者延べ人数63人） ・ペン字講座（期間5ヵ月 14回 受講者延べ人数78人）</p> | | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 483 (一般 483) | | 開設講座数 | 講座 | 目標値 | 10 | | | |
| | | | | 実績値 | 7 | | | |
| | | 受講者数 | 人 | 目標値 | 900 | 4 | 4 | 3 |
| | | | | 実績値 | 772 | | | |
| 成 果 自己評価 | 勤労青少年ホーム向け講座を継続したことで、個人の教養の向上のみならず、ボランティア活動など地域社会への貢献を考える一助となった。 | | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課 題 | 若者に魅力ある講座の開催や集える場所の提供を行っているが、個人の趣味の多様化や、社会の様々な情報が簡単に手に入る現状では、勤労青少年ホームの講座の参加者及び登録者の増加につながる「魅力」を見出すことができない。 参加した若者同士を結び付ける組織づくりを試みるも、敬遠される傾向にあるため、令和2年度から運用開始となった天草市複合施設こころすを拠点に事業所等での就業時間後の研修や学習会など既存の組織・団体に講座の呼びかけを行い、学習を通じた勤労青少年の支援を行う。 | | | | | | 見直して継続 | |
| 方 向 性 | 令和2年4月からの複合施設の供用開始に伴い、同施設内に設置する中央生涯学習センターの生涯学習推進事業において、本事業の内容を推進していくため、見直して継続していく。 | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 26 | | | | |
|---------------------|---|---------------|----------|---------------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業 | | 担当課係名 | 生涯学習課 生涯学習推進係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 生涯学習の推進 | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、青少年の非行防止を目的とする。 また、教育関係者や保護者をはじめ全ての市民の間で本市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的とする。</p> <p>●内容 ・ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。 ・高校生と一般市民からの標語及び児童生徒からの作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表 ・“社会を明るくする運動”青少年健全育成大会（7月）・育力活性化推進大会（2月）の開催</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。 ○高校生と一般市民からの標語及び小中学校児童生徒からの作文を募集し、青少年健全育成大会で表彰や作文の発表。 ○“社会を明るくする運動”青少年健全育成大会 “社会を明るくする運動”青少年健全育成大会 令和元年7月13日（土）参加者数500人 ・“社会を明るくする運動”作文、標語コンテスト入賞者表彰 ・“社会を明るくする運動”作文コンテスト 最優秀賞受賞作文の発表 ・実践発表 天草地区保護司会「地域の見守り、立ち直りを支える保護司活動」 熊本県立天草高等学校「50年後の天草は・・・～珪藻・花粉分析から海水準変動～」 ・講演 演題「現代の心育ての難しさやりがい」 講師 くまもと心理カウンセリングセンター臨床心理士 岡崎光洋氏 ・司会 天草市立牛深中学校 ○教育力活性化推進大会 令和2年2月1日（土）参加者数700人 ・オープニング 天草市立倉岳小学校「宮田棒踊り」 ・実践発表 天草市立牛深東中「『気づき・考え・実行する』活動で“貢献する喜び”を」 天草地域学校協働活動推進員 統括コーディネーター 向 博俊 「笑顔と絆が生まれる地域学校協働活動」 ・講演 演題「好きをみつけて生きること」 講師 生物学者 加藤英明氏 ・司会 熊本県立天草拓心高校</p> | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 1,236 (一般 1,236) | 社会を明るくする運動 標語、作文応募数 | 点 | 目標値 | 1,000 | | | |
| | | | 実績値 | 1,273 | | | |
| | 大会参加者数 (実績は2大会分) | 人 | 目標値 | 500 | | | |
| | | | 実績値 | 1,200 | | | |
| 成果 自己評価 | 社会を明るくする運動では、作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。教育力活性化推進大会では、学校、家庭、地域社会活動の実践発表を取り入れ、参加した教育関係者や保護者、市民活動の参考となり、教育意欲の向上につながった。 | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | 大会内容については、参加した教育関係者や保護者、市民の活動の参考になるような内容を企画していく。また、学校、家庭、地域社会活動についても実践発表を取り入れていく必要がある。 | | | | | 見直して継続 | |
| 方向性 | 令和2年度からは、社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会、青少年健全育成事業を統合し、青少年健全育成事業として見直して継続していく。 | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|---------------|----------|-----------------------|---------------|------|------|------|----------|-------|-------|------|-----|----|----|--------|------|-----|----|----|
| 事業名 | 放課後子ども教室推進事業 | | | 担当課係名 | 生涯学習課 生涯学習推進係 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 生涯学習の推進 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供することで地域社会全体の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容 地域のコーディネーターが中心となって住民と学校が連携して、放課後等の子どもたちの居場所を確保するとともに交流活動や学習機会を提供する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | <p>実施校数 2校 有明小学校（つわの花）：継続 御所浦小学校：新規</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>利用者数</th> <th>開催日数</th> <th>コーディネーター</th> <th>サポーター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有明小学校</td> <td>293人</td> <td>73日</td> <td>1人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>御所浦小学校</td> <td>390人</td> <td>29日</td> <td>1人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 学校名 | 利用者数 | 開催日数 | コーディネーター | サポーター | 有明小学校 | 293人 | 73日 | 1人 | 7人 | 御所浦小学校 | 390人 | 29日 | 1人 | 8人 |
| 学校名 | 利用者数 | 開催日数 | コーディネーター | サポーター | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有明小学校 | 293人 | 73日 | 1人 | 7人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 御所浦小学校 | 390人 | 29日 | 1人 | 8人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額 | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評 価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度(千円) | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 | | | | | | | | | | | | | | |
| 498 (一般 498) | 実施校数 | 校 | 目標値 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 実績値 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 参加者数 | 人 | 目標値 | 850 | 3 | 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 実績値 | 683 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 自己評価 | <p>本年度は、地域の方々の参画を得て、新規に1校（御所浦小学校）、継続1校（有明小学校）で実施。地域のコーディネーターが中心となり、地域住民と学校が連携し放課後の子どもたちへの居場所の確保と子どもたちへ学習や様々な体験、交流活動の機会の提供を行った。</p> | | | | 総合評価 (方向性) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課 題 | <p>本年度は、地域の方々の参画を得て、新規に1校（御所浦小学校）で実施することができた。児童クラブは、各保育所等で毎日実施されているが、放課後子ども教室は、週に1~2回程度、地域のコーディネーターが中心となり実施しているため、地域の方の参画が必要であり、人材の確保が難しい。</p> <p>また、参加者数においては、学校の統合により地域が広くなり実施できなくなったことなどから、目標値には及んでいない。</p> <p>今後は、放課後総合プランの推進事業の取り組みとして、子育て支援課と連携を図りながら事業を行う。</p> | | | | 見直して継続 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方 向 性 | <p>令和2年度からは、放課後子ども教室推進事業、家庭教育支援事業、地域学校協働活動推進事業を統合し、地域と学校の連携・協働体制構築事業として見直して継続していく。また、参加者数の目標値を見直して推進する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 点検評価調書 | | 整理番号 | 28 | | | | |
|-------------------|---|------------------|----------|---------------|-----------------------|---------------|------|
| 事業名 | 青少年健全育成事業 | | 担当課係名 | 生涯学習課 生涯学習推進係 | | | |
| 第2次総合計画 施策体系区分 | 経営方針 | 人が輝く活力あるまちづくり | 政策 | 生涯学習の充実 | 施策計画 | 生涯学習の推進 | |
| 教育振興 基本計画 | 政策 (基本方針) | 生涯学習の充実 | 施策 計画 | 生涯学習の推進 | | | |
| 事業目的・内容 | <p>●目的 青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア等の社会参加型活動への参加を支援する。 地域の伝統的事業を体験して歴史を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土を愛する心を醸成できる。また、地元の青年団やお年寄りや異世代交流を行うことにより社会性や自立性が身につく等の大きな成果がある。</p> <p>●内容 ・青少年育成事業補助金 青少年を対象とした各種体験活動及び交流活動を行う事業に対し、補助金を交付する。 (総事業費が10万円以上の事業に対して、2分の1を補助。) 【地区限定事業】補助対象経費に2分の1を乗じた額とし、150,000円を上限とする。 【市内全域事業】補助対象経費に2分の1を乗じた額とし、200,000円を上限とする。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | <p>○実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人天草みどりの村「2019 夏あまくさ自然学校」 参加者数 53人 ・栖本地区振興会「栖本町寺小屋体験学習」 参加者数 24人 ・ジャズじゃっと「おやこでジャズを楽しもう」 参加者数 65人 ・御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会「御所浦小学校・産山小学校海山交流活動」 参加者数 28人 ・熊本県立天草高等学校「土坪高等学校親善交流会」 参加者数 18人 ・一般社団法人天草本渡青年会議所「ONE PIECE～小さな一歩、大きな未来～」 参加者数 0人(大雨・台風で中止) | | | | | | |
| 決算額 | | 指標：成果、活動の対象となるもの | | | 評価 | | |
| 令和元年度(千円) | | 指標名 | 単位 | 令和元年度 | 上位の施策 (目標)への 貢献 | 市関与の 必要性 | 達成状況 |
| 952 (一般 952) | | 補助金申請団体数 | 団体 | 目標値 | | | |
| | | | | 実績値 | 6 | | |
| | | 参加者数 | 人 | 目標値 | 4 | 4 | 3 |
| | | | | 実績値 | | | |
| 成果 自己評価 | <p>地域の伝統的事業の体験や歴史学習によりふるさとの良さを再発見することで、ふるさとを愛する子どもたちの育成につながった。また、日常生活では体験することの少ない自然体験や他地域の子もたちとの異年齢交流、外国文化との交流を行うことにより、感謝の気持ちや思いやりの大切さを感じたり、ふるさとの素晴らしさを知るなど、青少年の健全育成に大きな成果があった。 新規を含め6団体の申請があったが、1団体は台風のため中止となり目標には達しなかった。</p> | | | | | 総合評価 (方向性) | |
| 課題 | <p>補助制度の周知方法について、学校や子ども会、地区振興会など更に充実強化を図り事業を促していく必要がある。 また、申請団体の計画的な事業の取組が継続的に行われているが、新規の団体各種体験活動や交流活動に対しても活用してもらうため事業費の基準を見直す必要がある。</p> | | | | | 見直して継続 | |
| 方向性 | <p>令和2年度からは、社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会、青少年健全育成事業を統合し、青少年健全育成事業として見直して継続していく。 補助制度を広く周知する必要がある、ホームページの他関係団体等を通じて周知、啓発を図る。</p> | | | | | | |

